

特集

## われら山の民!

はじめての「山の日」、みんなで山を考えよう。

「海の日」に続く祝日として、8月11日が「山の日」と制定され、いよいよ初の山の日がやって来ます。

山から海へ運ばれる栄養なくして海産物は育たず、また、海水が蒸発して雲となり、山に雪や雨を降らせなければ、田畑が潤うこともありません。豊かな水のめぐりは、森羅万象のみなもと。山と海は、つながっているのですね。

島国日本は、国土の7割を森林が占める山の国。3000メートル級の山が連なる日本の屋根、信州の中央に位置する岡谷も、当然ながら、ぐるりと山に囲まれています。あまりにも身近すぎて、ふだん意識することは少ないかもしれませんが、おいしい水や空気を生み、山の幸を育み、心にやすらぎをもたらしてくれる山は、昔から信仰の対象ともしてきた日本人の心のよりどころです。

7月第4日曜日を独自の山の日と定めた長野県は、8月14日までを「信州 山の月間」とし、山に親しみ、山を活かす取組を展開中でもあります。山とともに暮らすわたしたちが、山の日元年を契機に、あらためて自然環境を見直し、山が抱える課題とも向き合っていくことは、子どもたちに豊かな山を残す大きな一歩になると思います。

# まずは「日の日」制定の背景を知ろう。

1993年、県議会が「海の日・山の日」制定の意見書を決議。山岳県信州の主導で、「山の日制定」議論は始まりました。それはなぜか…検証してみましよう。

## こんなはずい、信州の山!

### 全国第1位

★3000メートル峰の数 15座

日本全国にある23座のうち15座が県の山(国土地理院発表)

★山小屋数 173軒(全国707軒中…つまり約4分の1が県内に)

### 全国第2位

★スキー場の数 77か所(北海道85か所の次に多い)

### 全国第3位

★森林面積 106万ヘクタール

★自然公園面積 28万ヘクタール

そのほか…

★日本三大美林のひとつに「木曾ヒノキ」が数えられている

★日本三大雪渓に「白馬大雪渓」と「針ノ木大雪渓」がランクイン

★県内全域で、学校登山が伝統的に行われている



## 信州の山には、こんな課題も…

●過去10年の間に、県内の山岳や高原や湖を訪れる観光客が1100万人減少

●登山道の整備や山小屋トイレの整備が追いついていない(管理面・費用面)

●シカによる農林業への被害、交通事故の多発、高山植物などへの食害



## 「日の日」制定の立役者のひとり 林新一郎さんに聞く

山の日を制定しようという声は、以前から、ぽつりぽつりとありました。組織的な活動になったのは、日本山岳会や日本山岳協会など、いわゆる山岳5団体が結束し、山の日制定協議会を発足させた2010年以降ですが、それでも思ったようには、なかなか進展しませんでした。

わたしは、中2の学校登山で八ヶ岳の天狗岳に登って以来、山に魅せられ登山を趣味とし、30年以上前から日本山岳会に所属していました。一方、岡谷商工会議所の会頭を務めさせていただくなか、治山治水や山岳観光事業などの振興という立場でも、なんとかこれを実現したいと強く思い、岡谷商工会議所として県会議所連合会へ働きかけ、総会で提案推進が可決されました。たまたま松本商工会議所の井上会頭も、同じく日本山岳会の会員とのことで、力強いパートナーでした。北信越の協議所会頭会でも賛同を得たころでしょうか、国会議員の後藤茂之氏(当時法務副大臣

の紹介により、谷垣禎一氏(当時法務大臣)と面会することができまして、学生時代から登山をされていた谷垣さんですので、思いは同じということになり、すぐさまネットワークづくりと法改正に向けた準備に動いてくださいました。県の市長会では、「提案を後押ししよう」と今井市長が口火を切って発言してくださり、そこに大町や松本といった山岳のまちが追随。こうして「山の日」制定の提案は、阿部県知事の賛同を得て、県をひとつにし、また全国的にも本格的な議論となつていきました。谷垣さんらの呼びかけにより、2013年に超党派の国会議員連盟が発足すると、日付を決める段階で少し手間取ったものの、大多数の賛成を得て、山の日が制定されるに至りました。



# 山びとサミット in おかや

**祝** 山の日制定に  
寄せて…

山を愛する市民の山談義を  
お贈りします。



## 林新一郎さんと山



登山経験や登山を通じて育んできた人脈が、思わぬところでチカラになりました。「登山をやっているよかったです」とい

じみ思いましたよ。登山には、ピークをめざすという具体的で明瞭な目標がありますが、山の日制定についても、同じように達成のよろこびを感じています。山は登ったら下りなくてはいけないわけで、山の日も制定できてよかったでは終われないと思っています。「山の恵みに感謝し、美しく豊かな自然を守り育てていく」という意義

### 岡谷市の最高峰 鉢伏山 1928.5m

- 塩尻峠東山から高ボッチ高原経由の全面舗装道路あり
- 高ボッチ駐車場から高ボッチ山頂まで…徒歩5分
- 鉢伏駐車場から山頂まで…徒歩15分
- 塩尻峠御野立公園、和田峠、ピーナスラインの三峰山(ほかから登山道あり)

#### 【登山のめやす】

- 御野立公園 - 高ボッチ  
…上り3時間、下り2時間15分
- 高ボッチ - 鉢伏山  
…上り2時間、下り1時間30分



鉢伏山

を、山国にいるわたしたちが率先して理解し、ふだん山とかかわりのない都会の人にも、山とつながって生きていることをわかってもらえるように行動したいです。

登山の道具や設備もとてもよくなって、だれでも気軽に山の魅力にふれることができます。多彩な動植物、昇る太陽、沈む太陽、星空…すばらしいです。けれど、自然の厳しさは、変わっていません。中高年の遭難も多いですよ。山の安全なくして、生活の安全なし。山が豊かでないと思っても豊かにはなりません。安全についてや治水治水についての啓発が、さらに必要だと思います。

市長時代には、厳冬期の西穂独標にも立ちました。体力と相談しながらですが、いまでも年数回は、本格的な山登りをしています。今後は、徐々に山の標高を低く、レベルを下げて…ということになると思いますが、それでも仲間と長く山に親しんでいきたいです。

## 山田昌さんと山

「横川山運営委員会」の委員長として、岡谷の山、横川山とかかわっています。横川山は、広さ1750ヘクタール(諏訪湖の1.3倍)、市の森林全体の3分の1を占めているでしょうか。北は鉢伏山、二ツ山、西は高ボッチで、松本、塩尻、下諏訪と境を接しています。製糸隆盛の時代には、燃料(薪炭)として乱伐が繰り返され、山崩れなどが多発するはげ山となっていたのですが、戦後、住民の手で植林が始まり、緑豊かな森に回復し、現在は、豊かな水源として、岡谷市の水道水の60%を供給しています。横川山運営委員会は、小井川、今井、東堀、間下、西堀、小口の6区の総代21名で構成され、山の管理を行っています。人工林は、手を入れ続けないとダメになってしまうので、会が中心となって、その保全に努め、山と水源を守っているわけです。具体的には、間伐、枝打ち、下草刈りなどをほぼ毎日行い、年間100ヘクタール以上を、計画的に整備しています。最近では、シカやカモシカによる獣害との闘いでもあり、とても苦労しています。また、6

区住民の当番制により、春の「野火番」も長く続けられています。子どものころ、横河川で水遊びをしたり、炭焼



高ボッチから望む北アルプス





横川山の湧き水「長命水」

きによく父親について山に入ったことはありましたが、横川山という組織は、退職後、区長から会の総代を委嘱されて、初めて知りました。昭和30年に組織ができ、47年から現在のかたちになったと聞いています。活動に携わり、先人の熱意と努力の積み重ねを目の当たりにしてからは、この山を、水源の森を、大切にしたいという思いが強くなりました。

横川山は、水源の森百選に選ばれ、市民の森として親しまれている山で、身近な憩いの場として、遊びに行く人も多くいますが、不法投棄なども含めて、ごみの量が多く、その点がとても残念です。ごみを持ち込まない、持ってきたものは、必ずぜんぶ持ち帰るといふふうには、山の日制定を契機に、水源を守る意識が醸成されるといいですね。

## 花岡 勉さんと山



山とのつきあいは、高1の時、山岳部の登山で、燕岳から槍ヶ岳を見て大感動…それが発端で、長年、長野県山岳協会の

系列の「岡谷山稜会」という登山クラブに所属し、山に登ってきました。山は趣味という以上に、生活の一部になっているかんじです。山稜会では、月に1〜2回、参加メンバーの人数や力量に合わせて、県内外の山へ出かけています。今年も、会創立50周年の記念登山があり、先輩方も顔を出してくださるので、楽しみにしているところ。ゴールドエンウィークや正月休みには、泊まりで遠くにも登山に行きます。冬も、山スキーを楽しんだり…。とにかく安全に、人に迷惑をかけないように、そして楽しく！がモットーです。2週間に1回くらいのペースが、自分に合っているのか、山に行くことと身体の調子がいいので、活動がなくても、地元の湊の山を歩いたりします。日本百名山も、未登頂の山より登った山の方が多くなりましたが、これからも一歩一歩、挑戦していくつもりです。

山の日制定は、山好きとして、うれしく思います。仲間が増えるのは、もちろん大歓迎です。山に楽しく登ってみたいみなさん、山稜会事務局・三沢 ☎231-7722



高ボッチからの諏訪湖

までご連絡ください。気分が知れた仲間と自然のなかで過ごす、これが山の醍醐味ですね。山で知り

合つて、また仲間の輪が広がったり…。すばらしい経験というのは、仲間と分かち合つてこそものごと実感しています。ただ、近年の激しい雨もあって登山道が荒れ、土がえぐれたり、貴重な植物が傷んだりするのは心配ですね。乗鞍に雷鳥の保護にも行きましたが、これからは、人が自然とどうかかわるべきか、考えないと。

岡谷は、遠方の人にも、ジャンクシオンがあるところと認識されているので、ジャンクシオンを眺められる山に遊歩道があったらどうだろうとか、湊の唐傘平にマウンテンバイクのコースがあればいいかも…などと思ったりもします。高い山でなくても、地域の特徴を活かした楽しみ方で、思い思いに山と接することができたらいいですね。

ヤッホー！市民のみなさん、山の日元年の夏到来です。



家族や仲間と楽しく涼しくさわやかに、県内や岡谷の山や森や湖や溪谷で、すてきな休日をお過ごしください。